

電波時計 取扱説明書

(デジタル掛置兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられないときは、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先	お客様相談室 0120-557-005 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く) お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してある型番をお伝えください。 例 8RZ○○○ (○印は数字です。)
	(Y2210)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**
 - 電池に傷をつけない。
 - 電池を分解しない。
 - 電池をショートさせない。
 - 電池を充電しない。
 - 電池を加熱しない。
 - 電池を火の中に入れない。
- 梱包用のポリ袋をかぶらない**
窒息する恐れがあります。
- 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**
 - 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
 - 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- 強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。
- 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびや故障の原因になります。
- ぬれた手でさわらない**
さびや故障の原因になります。
- 分解や改造をしない**
けがや故障の原因になります。
- 液晶から漏れた液に素手でさわらない**
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。
- 下記のような場所では使わない**
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
 - 直射日光が当たる所。
 - 暖房機器の風が当たる所。
 - 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
 - 火気のそば。●ほこりが多く発生する所。
 - 強い磁気を生じさせる機器のそば。
 - 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
 - プール、温泉場などガスの発生する所。
 - 調理場など多くの油を使用する所。
 - ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の交換時期お知らせ機能

- 電池の交換が必要になると電池マークが表示されます。電池マークが表示されたときは、早めに新しい電池に交換してください。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。使用するときは2個とも同じ種類の電池を使用してください。

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

※品名・型番	
※保証期間	お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様 氏名	様
ご住所	
TEL()	-
※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)	

※印は販売店記入

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたしません。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご購入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますのでご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
- 電池の交換。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はテープなどで絶縁してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

用途について

- この製品は医療や業務用として開発したものではありません。
- 注意表示は、測定条件によって大きく変化します。あくまでも目安としてお使いください。
- 本製品は、温度、湿度の証明など商取引に使用することはできません。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃(液晶表示可読温度範囲0～40℃)*結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個
電池寿命	約1年
電池交換時期	1時間に1回確認
お知らせ機能	
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局	福島局/九州局自動選択
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に開始
受信ON/OFF	ボタン操作にて切替可能
カレンダー	2012～2099年対応
温度湿度表示	
測定間隔	約1分間隔
温度表示範囲	-9.9～50℃
温度精度	±1℃ 温度表示範囲
湿度表示範囲	20～95%RH 温度が5～50℃のとき *相対湿度表示
湿度精度	±3%RH 温度25℃ 湿度60%RHのとき
防滴防塵機能	なし

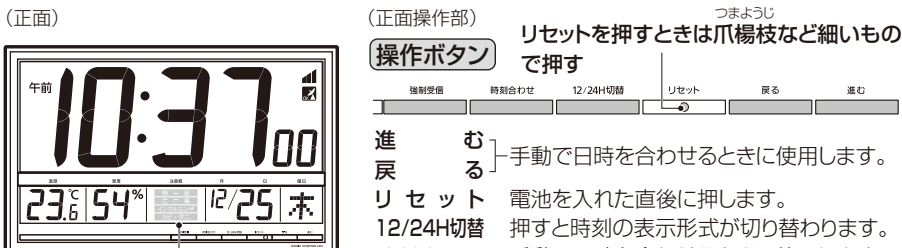
※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4本、取扱説明書・保証書 本書

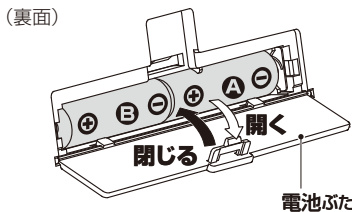
電池は付属しておりません。単3形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

ご使用方法(電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる)

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



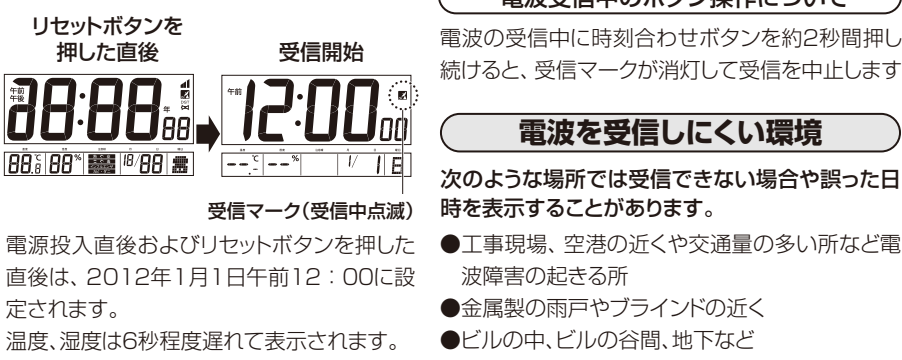
注意表示(環境の目安表示)
 注意状態は対象項目のみを表示
 ※通常時は液晶表示をしていません。



電池の入れかた

- 電池ふたを開ける。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形マンガン乾電池を2個入れる。
 ▲の電池は⊖の位置に入れてから横に移動させる。
- 電池ふたを閉じる。

【受信の流れと表示】



受信マークの変化(電波サーチ機能)

電波の状態により変化します。



① 受信終了
 ② 受信マークが点灯
 ③ 受信成功
 ④ 受信失敗

受信成功 受信マークが点灯

受信失敗 受信マークが点灯

●受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。
 ●受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。
 このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

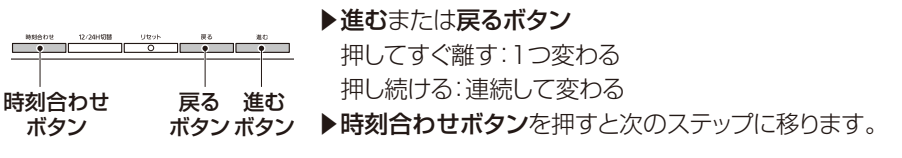
- 朝までそのまましておく
 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で日時を合わせて一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
 電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

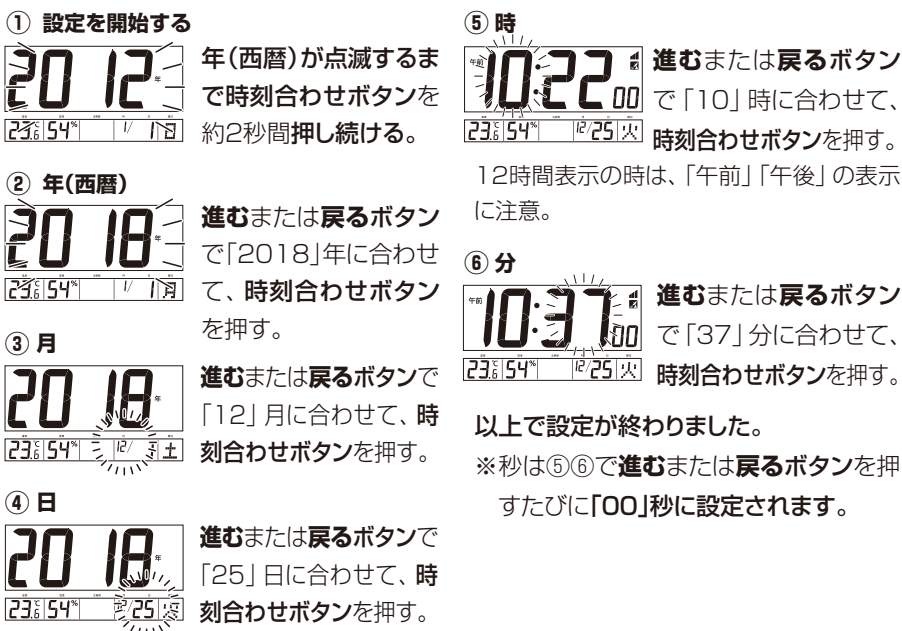
ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。
 このときの時間精度は、平均月差±30秒のクォーツ精度になります。

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。



- 電波受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。 (電波受信機能のON/OFF操作) 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。

操作例. 2018年12月25日 午前10:37に合わせる



電波受信機能のON/OFF操作

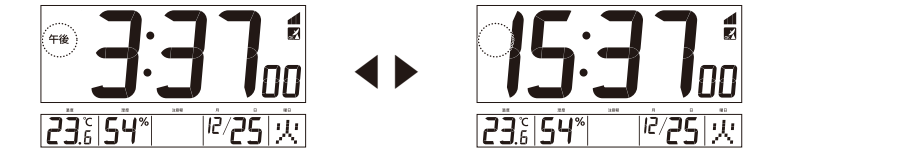
電池が無い状態では、受信機能はONになります。
 ※OFF状態のときに電池を取り外しても回路内の残留電荷のためすぐにはONになりません。
 数分間放置してから電池を入れてください。

■ 受信機能 OFF (無効にして手動で日時を合わせる)
 リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。
 ○OFFになるとリセットまたは強制受信ボタンを押しても受信マーク📶を表示しません。
 ○日時は手動で合わせてください。

■ 受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと受信マーク📶が点滅して受信を開始します。その後にも戻るボタンを離してください。定期的に標準電波を受信して日時を自動修正します。
 ※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

時刻表示形式の切り替え

12/24H切替ボタンを押すと切り替わります。
 午前/午後付 12時間表示 24時間表示 0:00 00~23:59 59



※表示の切り替えは、受信中、日時の設定をしているときは操作できません。

温度、湿度表示について

センサーが本体内部にあるため、周囲の温度変化をすぐには反映しません。
 本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度と湿度を反映しにくくなります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃を超える高温 「LL.L」-9.9℃未満の低温
 湿度「HH」95%RHを超える多湿 「LL」20%RH未満 「--」測定不可
 *湿度は温度が5~50℃のときに測定可能
 *湿度は相対湿度です。単位は%RHですが、天気予報など一般には%が使われています。

■ 注意表示 (環境の目安表示)

熱中症	温度、湿度の状態により、4つの項目についての注意(環境の目安)を対象項目の表示でお知らせします。
食中毒	
インフルエンザ	※左図では「インフルエンザ」が対象になっています。
カビ・ダニ	

※表示により発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。
 ※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

食中毒

梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、
 1. 菌を付けない(清潔にする)
 2. 菌を増やさない(迅速に冷却、乾燥する)
 3. 菌を加熱などで殺す
 対策が必要になります。

インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の動きを弱め、ウイルスによる感染が起こりやすくなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

カビ・ダニ

一般にカビ・ダニ等は、室温20~30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。

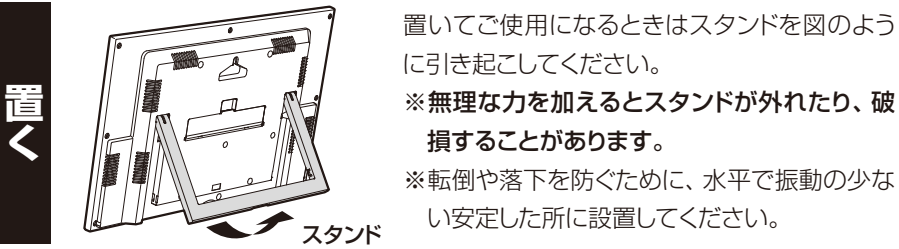
設置

注意 一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。粉じんが多い所、水がかかる所、結露する所では使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。

- 屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- ※設置する高さによっても温度、湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。
- ※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでます。

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- スタンドを開けてください。



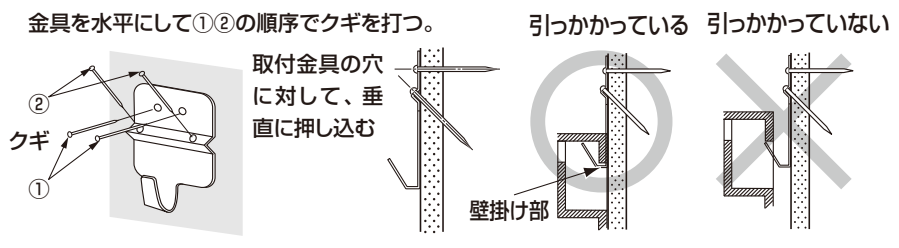
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のクギ4本でしっかり固定してください。

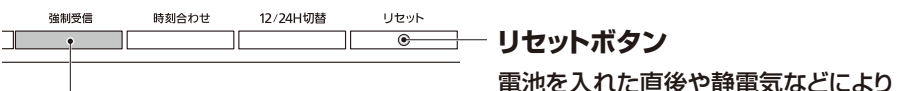


- 壁の材質、取り付け方を確認の上でご使用ください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

- 上記以外の壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

強制受信とリセット操作



強制受信ボタン
 場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。
 次のようなときは受信を開始しません。
 ●手動で日時を設定しているとき
 ●受信機能がOFFになっているとき

リセットボタン
 電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
 リセット直後は、2012年1月1日午前12:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。